

● Information

予 要予約（詳細はHPをご確認ください）
※下記のもの以外にもさまざまなイベントを開催しています。HPをご確認ください。

学校説明会（会場：本校）					予
学校説明会・ワークショップ		入試説明会		学校見学会	
6月22日（土）	9月28日（土）	11月23日（土・祝）	12月21日（土）	2025年1月25日（土）	
首都圏学校説明会（会場：聖心女子大学）		体験教室		公開行事	予
7月12日（金）	10月11日（金）	夏休み子ども自然観察ツアー	春の子ども自然観察ツアー	秋のつどい	
11月30日（土）	2025年1月13日（月・祝）	7月30日（火）	2025年3月28日（金）	11月2日（土）	
		8月3日（土）			

● Schedule 入試日程（2024年度）

試験区分	帰国生入試	中学A日程	中学S日程	中学B日程
対象	小学6年生			
実施日	2025年1月11日（土）	2025年1月11日（土）	2025年1月13日（月・祝）	2025年2月3日（月）午後
試験会場	本校	本校	聖心女子大学（東京）	聖心女子大学（東京）・本校
試験科目	2科（国・算・英から選択）、面接	2科（国・算・英から選択）・ 4科（国・算・社・理）、自己紹介シート	2科（国・算）・4科（国・算・社・理）、 自己紹介シート	1科（国・算・英から選択）、 面接
定員		66		10
		76		

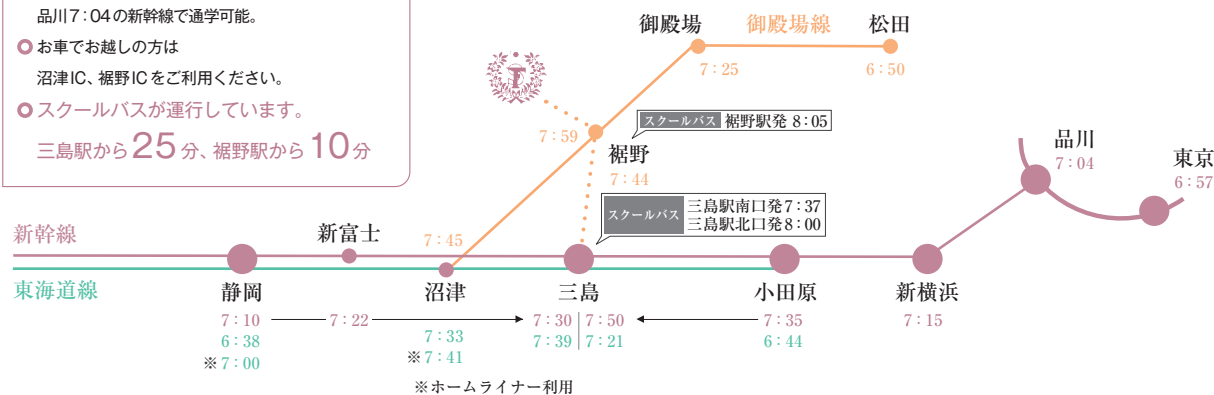
不二聖心AO入試（高1・中3転編入） ※AO（アドミッションズ・オフィス）は、本学院と受験生とをマッチングするコミュニケーション型入試です。

受験資格：本学院の教育理念に共感し、本学院を第一志望とする者。一般・帰国を問いません。
会場：本校
試験科目：国語または数学の選択、英語、面接
試験日：中3AO…2025年2月3日（月） 高1AO…2025年2月4日（火）

※帰国生の受け入れをしています。海外からのオンライン入試も可能です。
※試験科目で英語を選択した場合、取得検定級のレベルによって英語の試験を免除します。詳細はご相談ください。

● Access Map

- 新幹線通学できます。
品川駅から新幹線ひかり号で37分、こだま号44分。
品川7:04の新幹線で通学可能。
- お車でお越しの方は
沼津IC、裾野ICをご利用ください。
- スクールバスが運行しています。
三島駅から25分、裾野駅から10分



寄宿舎のある学校です

学校法人聖心女子学院
不二聖心女子学院中学校・高等学校

〒410-1126 静岡県裾野市桃園198
TEL: 055-992-0213



不二聖心女子学院 中学校・高等学校

| HANDBOOK 2024-2025 |



FUJI SACRED HEART SCHOOL



子どもたちを通して、
この世界に
愛の力が花開くように

創立者は、教育の全てを通して
真に価値あるものを礼拝する人を育てたいと望み、
学業と生活全般を通して、しっかりした知性、堅実な実行力、
謙虚な心を育て、これが神への深い信仰に根をおろして、
神の愛に生きる女性を育てることを教育の目的としました。



聖マグダレナ・ソフィア・バラ

聖心女子学院の設立母体である聖心会は、1800年（寛政12年）にマグダレナ・ソフィア・バラによってフランスで創立されました。以後、聖心女子学院はヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア、アジア、アフリカへと広がりました。創立者は、1925年にローマ教皇により聖人の位に上げられ、「聖マグダレナ・ソフィア・バラ」と呼ばれるようになりました。バチカンの聖ペトロ大聖堂には創立者のご像があります。

Contents

02	建学の精神	17	寄宿舎セント・マドレーヌ
03	教育理念	19	キャンパス紹介
05	カリキュラム／授業紹介	21	年間行事
07	特色ある教育	23	課外活動／自主活動
09	不二の丘から世界へ	25	聖心ネットワーク／学費
11	キャリア・進路	26	創立の精神
13	卒業生・在校生の声		
15	学院生活／制服紹介／通学状況		



「私は、たった一人の子どものためにも この学校を建てたでしょう」

—聖マグダレナ・ソフィア・バラ—

一人ひとりが神の愛を受けたかけがえない存在であることを知り、世界の一人としての連帯感と使命感を持って、よりよい社会を築くことに貢献する賢明な女性を目指します。

聖心女子学院の聖母マリア

Mater Admirabilis マーテル・アドミラビリス（感ずべき御母）

この絵は、世界中の聖心の学校に飾られています。「希望」のある未来を示すあけぼのを背景に、ふと手仕事をやめて、心を神に捧げる若き聖母マリア。バスケットの上に伏せられた読みかけの聖書によって示される「学問」への関心、手にする糸紡ぎに表される「働くこと」の尊さ——ここに祈り、考え、働くという神と共に生きる人間の姿が描かれています。また、傍らに咲くユリの花は「清純」の徳を表します。命をはぐくみ、大切にし、神と人への愛にこたえていく女性の品位と使命を象徴しています。学院の創立者、聖マグダレナ・ソフィア・バラが目指した女性の理想像を表すものとして、創立者の時代から親しまれ、世界中の聖心にあります。

聖心女子学院18歳のプロフィール

聖心女子学院では、教育方針と調和した形で、生徒が高校を卒業する18歳の時に身につけてほしい基本的な力、態度を「18歳のプロフィール」に描いています。高校3年生は、卒業の前にプロフィールの各項目から自らの成長を振り返ります。



創立者の生誕地ジュワニーのぶどう畑

教育の方針

■ 魂を育てる

祈る心を大切にし、キリスト教の価値観に基づいて愛と希望を持って生きる姿勢を育てます。謙虚に自己を見つめ、現実静かに向き合い、自らを深め、高めていくように導きます。みずみずしい感性と他と共感できるような豊かな人間性を育みます。

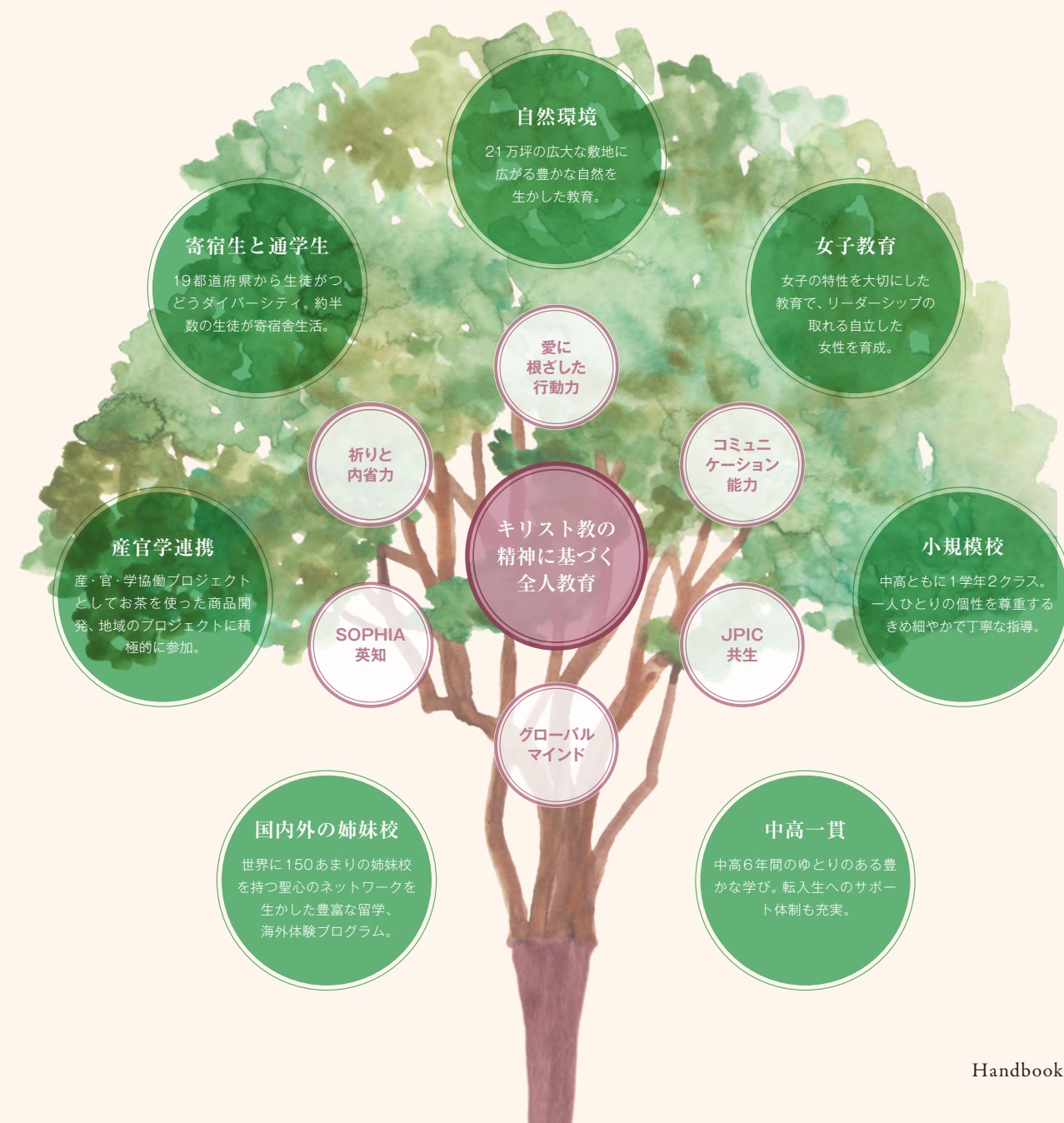
■ 知性を磨く

知的価値を重んじ、喜びを持って自ら学ぶ力を育てます。創造性に富む堅実な思考力と、正しく判断する力を育てます。広い視野で物事をとらえ、自分の考えを明確に表現する力を育てます。

■ 実行力を養う

人や社会と積極に関わる力を育てます。骨惜しみせず働く習慣と、誠実に他者に尽くす行動力を育てます。責任感と謙虚な心を備えたリーダーシップを養います。

教育の特徴



Curriculum

カリキュラム

Sacred Heart

進路を見据えた充実の学習指導

6年間を3つのステージに分け、発達段階に応じた教育活動が行われます。しっかりと土台づくりの上に学びの視野を広げ、進路実現に向けて学力を身につけます。

Design Your Future



カリキュラム

< 中学 >

教科	中学1年 年間時間数	中学2年 年間時間数	中学3年 年間時間数
国語	158	158	175
社会	122	122	140
数学	175	175	175
理科	122	140	140
音楽	53	35	35
美術	52	35	35
保健体育	105	105	105
技術・家庭	70	70	35
外国語 (英語)	193	210	210
道徳 (宗教)	35	35	35
特別活動	35	35	35
総合的な 学習の時間	70	70	70

< 高校 >

教科	高校1年 単位数		高校2年 単位数		高校3年 単位数	
国語	現代の国語	2	文学国語	2	文学国語	2
	言語文化	2	論理国語	2	論理国語	1
			★古典特講	2	◆国語表現Ⅰ	2
					■古典探究	3
地理歴史			★古典演習	3		3
	地理総合	2	●世界史特講	2	◇日本史探究	4
	歴史総合	2	▼日本史特講	2	●世界史探究	5
			▼地理特講	2	★地理探究	3
公民			公共	3	★倫理	3
					▼政治・経済	3
数 学	数学Ⅰ	3	数学Ⅱ	3	■▼数学Ⅲ	6
	数学A	2	★数学B	2	■数学B	3
			●数学特講	2	◆数学C	2
			●数学演習	2		
理 科	化学基礎	2	▲物理基礎	2	◇物理	4
	生物基礎	2	▲地学基礎	2	●化学	5
			▼物理特講	2	◇生物	4
			◆化学特講	2		
保健体育		2	▼生物特講	2		
	体育	2	体育	3	体育	2
	保健	1	保健	1		
芸 術	■音楽Ⅰ	2	◆音楽Ⅰ	1	◆音楽Ⅱ	2
	■美術Ⅰ	2			◆美術Ⅱ	2
	■書道Ⅰ	2			◆書道Ⅱ	2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	4	英語コミュニケーションⅡ	5	英語コミュニケーションⅢ	5
	論理・表現Ⅰ	2	★Global English	2	▼論理・表現Ⅱ	3
			●英語特講	2	◇Global English	4
			◆フランス語	1	●フランス語	2
家庭			◆ドイツ語	1	●ドイツ語	2
			家庭基礎	2	●保育基礎	3
情報	情報Ⅰ	2			★情報Ⅱ	3
宗教	宗教	1	宗教	1	宗教	1
総合	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1
HR	HR	1	HR	1	HR	1

授業紹介

国語科



基礎的な国語力と深く読む力を養うこと、豊かな表現力を身につけることを大切にしています。表現力育成のために各種コンクールに参加し、数々の成果を収めています。

社会科・地歴公民科



地理や歴史、社会の仕組みについて学ぶことを通して、現代の社会や人々の生活に対する関心や理解を深めます。また自ら考え、表現することも大切にしています。

数学科



実社会で活用できる論理的な思考の習得を目標としています。学力に応じた能力別クラスで授業を実施しています。理系進学を希望する生徒向けに高度なレベルの大学入試問題を扱う数学演習、数学特講等の選択科目を開講し、多様な進路に対応させています。

理科



広大な自然を生かした理科教育を実践しています。実験や観察、問題解決学習を通して考察力を培います。学校内外で多くの科学研究に触れ、自然観や倫理観を養います。

外国語科



グローバル社会で通用する英語の習得を目指しています。聞く・話す・読む・書くをバランスよく学び、英語で考え、判断し、発信していく思考力を身につけていきます。

宗教科



キリスト教や創立者について学び、自分と他者を大切しながら共生の精神のうちに生きる態度を養います。また、よりよい社会の実現に向けて神の愛に根ざした生き方を考えます。

芸術科



芸術を愛すること、感じたことを表現すること、また宗教的なものに触れ、芸術と宗教の関わりから心を養うことを大切にしています。

保健体育科



心と体を一体としてとらえ、独自の環境を生かした種目を設定し、補強運動を取り入れながら健康の保持増進や体力向上を目指しています。

家庭科



衣食住・保育・情報などさまざまな分野で生活に必要な知識や技能を身につけ、自立に向け生活をデザインする力をつけます。

情報科



人工知能(AI)などの技術が急速に進化した「Society(ソサエティー)5.0」時代の到来を迎え、社会変化に迅速に対応できる能力を身につけ、情報機器を適切に活用していける人材を育成します。

Distinctive Characteristics of
Education

特色ある教育

Sacred Heart

使命感を持って社会に
貢献できる女性を育てる



研究活動



卒業研究

中学では研究活動に取り組んでいます。1年次は問いの立て方や資料の集め方、2年次はテーマを多角的にとらえ、研究を深めることを学び、3年次では集大成として2万5千字にもおよぶ卒業研究を仕上げます。生徒一人ひとりに指導教員が付き、丁寧な指導が行われます。正解のない問いに答える経験を通して、問題解決力や論理的思考力、表現力が身につきます。

総合的な探究の時間



サステイナブルな社会へ

1年次には持続可能な社会をテーマに広大なキャンパスを生かした里山研究、AIを活用した持続可能な社会づくりなどを専門家の指導のもと体験的に学びます。2年次にはフランス・ルーツへの旅に向けて、聖心女子大学と連携した講座を展開します。3年次には人間学として、様々な領域で活躍する卒業生の講演会や社会課題に対するディベートを行います。

ラーニング・ハブ



自ら学ぶ姿勢に応える、 学びの中心地 図書館

研究活動や調べ学習などを通して、生徒が高い問題意識を持って自ら学ぶ力を身につけるために、図書館の機能は欠かせません。蔵書数約5万冊を有する図書館は、多様なテーマの研究や生徒一人ひとりの知的好奇心に応える豊富な資料と、目的に応じた学びをサポートできる環境が整っています。

※静岡県立中央図書館の電子サービスに一括登録（希望者）しました。信頼できるコンテンツを増やし、生徒の学びを応援しています。
※聖心女子大学の図書館の資料を閲覧することもできます。

ネイチャー＆サイエンス

テクノロジー

一人一台のPCをもち、Google Workspace for Educationを用いてクラウド上で学習支援を行っています。高校生はAdobe Creative Cloudを導入し、PhotoshopやIllustrator、Premiere Proなどを自由に使うことができます。3Dプリンターも教育に活用されています。



Tech. Day

中学1年生から中学3年生まで、プログラミングを集中して学ぶTech. Dayをもうけています。中学1年生ではビジュアルコーディングでプログラミング的思考を養い、中学2年生ではHTMLとCSS、中学3年生ではアプリの作成を通して、プログラミングを実践的に学び、高校での学びに繋がります。



理系大学との連携

藤田医科大学医学部循環器内科学講座との教育連携の締結の他、東京理科大学とのICTツールを用いた共同授業支援プログラム、東京農業大学地域環境科学部との人が集まる森づくりプロジェクトなど、自然科学系大学との教育連携を進めています。



Woven City

Woven City（ウーヴン・シティ）とは、ウーヴン・バイ・トヨタが裾野市に建設中の次世代技術の実証実験の街です。Woven Cityの開発拠点である日本橋の本社の見学や、講演会などを通して、持続可能で地域と共生する街づくりについて学んでいます。



プチ・ミュージアム（サイエンス）

本物に触れる体験を大切にしている不二聖心では貴重な標本類や資料を展示しているプチ・ミュージアムがあります。生徒はいつでも自由に出入りすることが可能です。学院の自然に関する資料のほか、海外の標本なども多く展示されています。



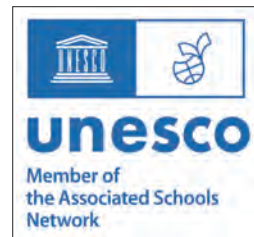
自主活動

内閣官房の委託事業「未知なるウイルスに立ち向かえ！バンデミック研究ワーキングⅡ」や全国の医学生らが運営をするヘルスケア課題解決型の課外活動プログラム「inochi WAKAZO Project」に参加するなど自然科学や医療系の自主活動を積極的に行っています。



ユネスコスクール

平和な社会を築くことに貢献できる女性の育成を目指し、共生の精神に根差したJPIC（Justice:正義、Peace:平和、Integrity of Creation:創造世界の保全）の視点を大切にしながら教育を行っています。姉妹校と共に模擬国連大会に参加したり、ユネスコが主催するESD国際交流プログラムに代表として参加するなど、国内外の姉妹校ネットワークやユネスコスクールネットワークをフルに活用し、SDGsに取り組みグローバル化がもたらす諸課題に対し、サステイナブルな世界の構築に向けて自分に何ができるかを探求していきます。



From the hills of Fuji
to the world
不二の丘から
世界へ
Sacred Heart

誰でも いつでも どこにでも

“Design Your Future!”のスローガンのもと、自らのキャリア構築に向けて
聖心姉妹校ネットワーク、姉妹校以外のプログラムに参加し、主体的に未来を
デザインしていきます。

留学アドバイザーが、留学だけでなく、全ての海外プログラムに対応します。

フランス・ルーツの旅（全員対象）



「フランス・ルーツへの旅」〈高校2年生全員〉

19世紀初頭に創立された聖心会と聖心女子学院ゆかりの地を訪ね、創立者の精神にふれます。また、パリのユネスコ本部での研修や、ソルボンヌ・ヌーヴェル大学も訪問予定です。

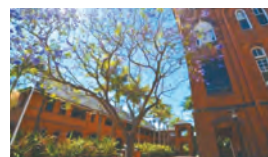
1年間の留学：中学3年生以上（希望者）



カナダ
Sacred Heart School of Halifax
〈姉妹校留学〉
9月～翌年7月



アメリカ合衆国
Academy of the Sacred Heart
(Grand Coteau)
〈姉妹校留学〉9月～翌年7月



オーストラリア
Stuartholme School
〈姉妹校留学〉
1月～12月



ニュージーランド
Baradene College of
the Sacred Heart
〈姉妹校留学〉1月～12月



スコットランド
Kilgraston School
〈姉妹校留学〉
9月～翌年7月



フランス
La Perverie Sacre-Coeur
〈姉妹校留学〉
9月～翌年7月

6か国の姉妹校への留学に加え、姉妹校以外への留学をする生徒も多くいます。現地での学業の成果が認められれば姉妹校留学と同様に単位が認定され、学年を落とすことなく進級もできます。アメリカ・カナダ・イギリス・ニュージーランドなどの英語圏、ドイツ・フランス・オランダ・スウェーデン・イタリア・メキシコなど英語圏以外に留学する生徒もいます。1割以上の高校生が在学中に1年間留学します。

ターム留学：中学2年生以上（希望者）



約3カ月程度のターム留学をすることができます。中学2年生以上は誰でもエントリー可能で、時期・留学先の国や地域は、興味関心に合わせて、自由に選択することができます。

短期交換留学（希望者） ※渡航費以外は無償です



アメリカ合衆国
Villa Duchesne and Oak Hills School
〈姉妹校短期留学〉
(1ヶ月間)



フランス
La Perverie Sacre-Coeur
〈姉妹校短期留学〉
(1ヶ月)



イタリア
Istituto Sacro Cuore della Trinita dei Monti
〈姉妹校短期留学〉
(1ヶ月)



台湾
聖心中
〈姉妹校短期留学〉
(1ヶ月)



メキシコ
Colegio Sagrado Corazon
〈姉妹校短期留学〉
(1ヶ月)



アメリカ合衆国
Academy of the Sacred Heart
(Grand Coteau)
〈姉妹校短期留学〉(1ヶ月)



アメリカ合衆国
Forest Ridge School of the Sacred Heart
〈姉妹校短期留学〉
(1ヶ月)



アメリカ合衆国
Sacred Heart Academy Bryn Mawr
〈姉妹校短期留学〉
(1ヶ月)



アメリカ合衆国
Villanova Preparatory School
〈短期留学〉
(1ヶ月)

海外体験プログラム（希望者）



韓国
Exchange Program in Korea
〈ソウル聖心との交流プログラム〉
※1月には、ソウル聖心生が来校



台湾
Sacred Heart Cultural Exchange Camp
〈台北聖心企画〉8月上旬～中旬(12日間)
※1月には、留学生来校



バーチャルコラボレーション
Sacred Heart Live
オンライン



フィリピン
フィリピン体験学習
〈小林聖心企画〉
7月下旬(11日間)



カンボジア
カンボジア体験学習
〈聖心女子学院企画〉
7月下旬(8日間)



タイ
タイ体験学習
〈札幌聖心企画〉
7月下旬(8日間)

Sacred Heart

存在であること
性としての使



グローバルな教育で得た目標

授業以外にも様々な場面で外国語に触れる機会があり、英語力を養ったと同時に、英語と歩む人生にしたいという将来の目標ができました。「Design Your Future」プログラムでは目標への道筋を考え、何を実践していくかを考えました。その中で、高2でイギリスに長期留学に行くことを決心しました。留学中は、寄宿舎生活で得た協調性が大いに役立ちました。留学での経験から提携校であるテイラーズ大学に推薦制度を利用し進学する決意をしました。学院での経験から留学、留学の経験から海外大学進学、そして将来の夢へ、と全てが繋がって今の私があると思っています。夢への実現に向けて様々な機会や経験を与えてくれた不二聖心に感謝でいっぱいです。

浅野 真理 さん Taylor's University
International Tourism Management

寄宿舎生活の賜物

今振り返ると、学院に入学するまでは自分中心で物事を考えて生活していたと思います。しかし、寄宿舎の入ると、自分のことだけを考えて生活することはできませんでした。お食事をいただく時、友達とお話をする時、お風呂に入る時、どんな時でも相手のことを思いやりながら生活することの大切さを体験しました。そんな環境に6年間いたからこそ思いやりをもって他者に接する態度が自然と身に付き、困ったことがあっても、相手の立場を考えながら、共に解決へ向けて行動できるようになりました。常に周囲を意識しながら行動できるようになったのは6年間の寄宿舎生活の賜物だと感じています。

中本 彩香 さん 青山学院大学 法学部



Voices of Students

在校生の声



かけがえのない経験となった姉妹校留学

学院では授業や行事を通して英語を身近に感じる機会が多く自然と留学に興味を持つようになり、私は高1でカナダの姉妹校に留学することにしました。留学中は語学力を向上させるだけでなく、医療に関するボランティア活動に参加するなど、将来の夢につながる経験ができました。コロナ禍で困難も多かったですが、聖心の海外姉妹校ネットワークの中で安心して留学を続けることができ、サポートしてくれた留学アドバイザーや先生方、ホストファミリーにはとても感謝しています。留学を通して何事も前向きに捉え、自ら行動し挑戦することの大切さを学びました。

吉原 詩乃 さん 上智大学 総合人間科学部

不二聖心で培った心の糧

学院で学んだ「隣人愛」は、私の人生観を大きく変えてくれました。折りの会は、自身の魂を育てることができたかけがえのない経験です。積極的にボランティア活動へ参加し潜在する社会問題と向き合う時間が増え、高2では社会問題の啓発活動に取り組む自主団体を立ち上げる事ができました。この活動は、将来の進路にも繋がっています。社会問題へ目を向けるきっかけとなった「隣人を自分のように愛しなさい」という考え方は、不二聖心に通っていたからこそ培うことができたと思います。この先も、夢を実現するために大切にしていきたいです。

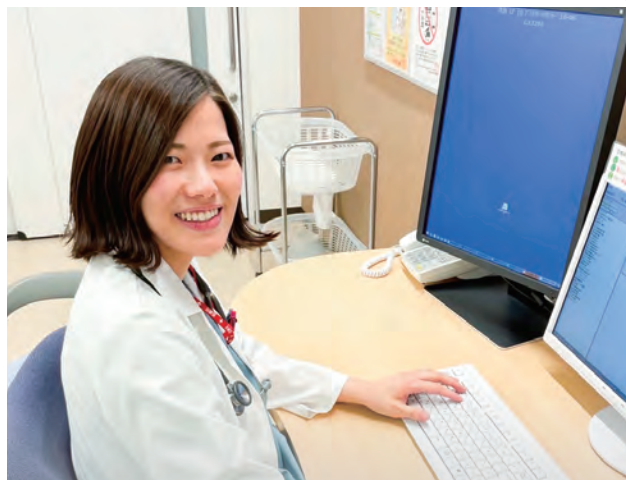
光井 恋渚 さん 同志社大学 社会学部



石橋 聡子 さん

2019年卒業 慶應義塾大学 文学部進学

私は6年間、寄宿舎セント・マドレーヌで過ごしました。私にとって寄宿舎は、あたたかな思いやりで満たされた場所でした。シスター方、先生方は、「大丈夫?」「学校頑張っつね」といった心配や励ましの言葉とともに、いつも私たちを優しく見守ってくださいました。また、友人たちとは、日常生活はもちろん、行事の運営など、お互いに助けあう場面が多くありました。中学・高校の6年間は、何かと悩みの尽きない時期でもありましたが、寄宿舎での人との関わりに常に支えられていたように思います。



尾関 優香 さん

2013年卒業 愛知医科大学 医学部卒業
現在 呼吸器内科医師(専修医)

医療現場では患者さんの状態を素早く判断し、同時に複数のことを想定し行動する対応力が必要です。また多職種で連携して患者さんを救い、サポートしていくことも重要です。寄宿舎生活では、互いを思いやりながら、人に流されることなく今何をするべきか自分自身で決めることが求められました。集団生活の中で、学生なりの判断力、チーム医療の現場で生かされているコミュニケーション力を培いました。成長途上の時期に、あえて自分を律しわがままが通らない規則ある生活を不二聖心で経験できたことは、私を大きく強く成長させてくださいました。

Voices of Alumnae

卒業生の声



金田 尚子 さん

2004年卒業 聖心女子大学 文学部卒業
現在 国際連合世界食糧計画(WFP)*

*国際連合世界食糧計画(WFP)は、2020年10月にノーベル平和賞を受賞しました。

学校は勉学を学ぶ場であると共に、生徒の可能性を広げる場、人間力を高める場であることを不二聖心から学びました。現在の仕事に繋がる転機は中学3年生で取組む「卒業研究」でした。「地雷問題」をテーマに多角的に研究し、国際協力の現場で従事したいと思うきっかけとなりました。また、思春期に様々な考え方を持つ同級生と寄宿舎生活することによって、互いの違いを受け入れ、困難な事も乗り越えていった事は、国連機関という多国籍・多文化のチームと働く上で無くてはならない経験となりました。雄大な自然に囲まれて過ごした不二聖心での6年間は、人として生きる指針を得たかけがえのない日々でした。



倉持 奈央子 さん

2003年 聖心女子大学 文学部卒業
ロンドン大学東洋アフリカ学院修士課程修了
現在 国際連合事務局政務平和構築局政策調整部政務官

在学中に国連の平和への取り組みに従事することを考えはじめてから、少しずつ専門分野で経験を積み、2014年より国連で紛争予防に関わる業務に取り組んでおります。在学中には、シスター・先生方の温かい指導の下、現在の仕事のルーツとなる様々な経験の場をいただきました。世界の人々に心を寄り添う毎日のお祈りの時間、具体的な行動を起こす大切さを学んだ奉仕活動、人権問題を取り上げた卒業研究など、挙げればきりがありません。ジェンダーの平等が今なお世界中の課題である中、敢えて女子学生だけの環境に身を置くことで、女性の多様な生き方と人権を考えるきっかけとなりました。

School Life

学院生活

Sacred Heart

2024年度 学院目標

“魂を育てる
～Beyond… 今のかなたへ～”

年間を通じて豊富な行事、奉仕活動があり、一人ひとりが自分の能力を発揮する機会が多くあります。学年を超えた行事が多く、上級生・下級生が深い絆でつながります。



学院の1日

Good Morning!

8:30



登校

生徒たちは、徒歩、三島駅・裾野駅からのスクールバスで登校します。8:30になると聖堂の鐘の音が鳴り、一日が始まります。

8:50



授業

日直さんの合図で元気に挨拶をして授業開始です。グループワークなど皆で学び合います。

12:40



昼休み

通学生・寄宿生一緒にランチ。パンとお弁当の販売も人気です。

お弁当を
アプリから
注文できます

13:25



授業

積極的に自分の意見を述べ、他の人の考えに耳を傾け、話し合いをすることで理解を深め、世界を広げます。

14:25



授業

理科室・調理室・被服室・マルチメディア室と多数の特別教室を利用し、充実した学習活動を行っています。

15:40



放課後

アイスの
自販機が
あります

放課後はクラブにより週に1～3回活動します。その他、委員会活動、プライベートレッスンなどがあります。

エンジェル制度

本校の伝統ある制度のひとつです。新入生（チャイルド）にそれぞれ高校3年生（エンジェル）がつきます。勉強、友達関係などを相談したり、登下校を一緒にしたり、新入生が安心して、学院生活や寄宿舎生活になじめるようお世話をします。



制服紹介



Check! >>>

気品と知性を身につけた女性をイメージし、洗練され、より若々しいデザインになっています。スラックスの選択もできます。ワンピース、ポロシャツなどは任意購入です。



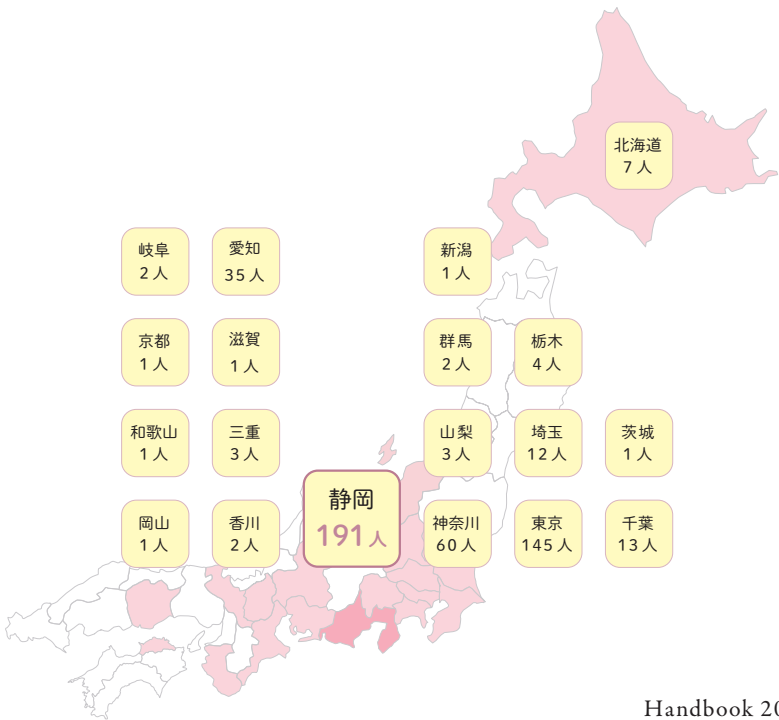
通学状況

さまざまな地域

通学生は1時間半、寄宿生は4時間の通学が可能な広域な地域から生徒が集まります。通学生は毎日三島駅・裾野駅からスクールバスを使って通います。全校の約半数を占める寄宿生は原則、週末は帰宅します。

※保証人制度により4時間を超える地域からの入学が認められる場合があります。
※高校生は学生会館等から通学することを認めます。詳細はお問い合わせください。

Diversity on Campus



Fuji Sacred Heart School
Dormitory-St.Madeleine

寄宿舍 セント・マドレーヌ

Sacred Heart

ヨーロッパの ボーディングスクールの伝統

寄宿舍セント・マドレーヌは、イエスの聖心のもとに集められた家庭的な生活の場です。祈る心・感謝する心を大切に、各地から集まった生徒たちが共同生活を通して、自主性・協調性を身につけます。

寄宿舍での生活

point

01

自立と共生



寄宿舍セント・マドレーヌでは、洗濯や掃除など、自分のことは自分で行い、時間の使い方や自立心を身につけます。また、小さなことでも仲間と相談し、話し合うことで、リーダーシップや仲間と支えあう喜びを学びます。そして、毎週末帰宅することを通して、家族とのつながりを深めていきます。

point

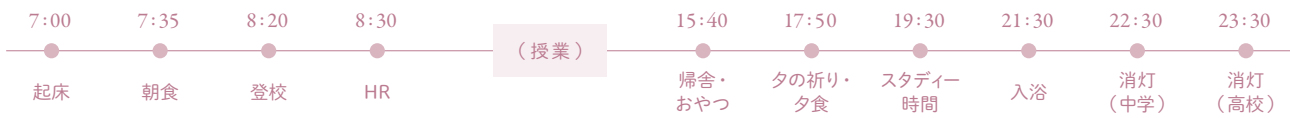
02

皆で楽しむ
年間行事



歓迎会、寄宿祭、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、送別会など、年間を通して様々な行事があります。企画・運営をすべて生徒が行い、楽しみながら集団生活をまとめ、導いていく力を養います。そして、互いに思いやり、助け合いながら、共に成長していきます。

寄宿舍の1日



tea (おやつ)

寄宿舍に戻ると毎日違ったおやつが用意されています。和菓子や洋菓子など、生徒の毎日の楽しみになっています。



ピアノセル

ピアノセルにピアノが5台常備されており、自由時間に練習ができます。また、個人の楽器を持ち込んで練習することも可能です。



夕の折り



食事



食堂(ジュワニー)



寝室



中庭



医務室



お風呂



シャワールーム



スタディールーム

寄宿舍での学び

寄宿舍では、自主的に学習する姿勢を身につけます。学習を通してお互いを刺激し合い、高め合える友人がいることも魅力のひとつです。一人ひとりに合わせたサポート体制も充実しています。



自習時間

中学生は毎日1時間半の自習時間が設けられています。毎回監督がつき、集中して学習に取り組める環境が整っています。



チューター制度

チューター(家庭教師)による数学、英語のマンツーマン指導を受けることができます。(有料)



AI 学習教材 atama+

自分のPCを使い、AIによって最適化された教材で学習する個別最適化学習を受講できます。



オンライン英会話

タブレットを使用し、オンライン英会話などで、毎日継続してレッスンを受ける生徒もいます。

勉強に集中できる環境

自習室は沈黙を大切にしており、自習時間以外の利用もできます。時間を工夫すれば1日最大7時間半の自習が可能です。



Our Facilities
キャンパス
紹介
Sacred Heart

21万坪のキャンパスで 生徒たちが奏でるハーモニー

不二聖心女子学院は、タワーベルが印象的な本館を中心に左手に中学校校舎・高校校舎、右手奥に寄宿舎、右手手前には約5万冊の蔵書を備えた図書館があります。2つの理科室、コンピューター室、マルチメディア室などの特別教室とともに、広大なキャンパス内の森やオークヒルも生徒の多彩な学習活動を支えています。

学院の施設の一部を360° view
でご覧いただくことができます。

[https://www.fujiseishin-jh.ed.jp/files/
view/honkan360.html](https://www.fujiseishin-jh.ed.jp/files/view/honkan360.html)



360° view



プール 富士山の雪どけ水です



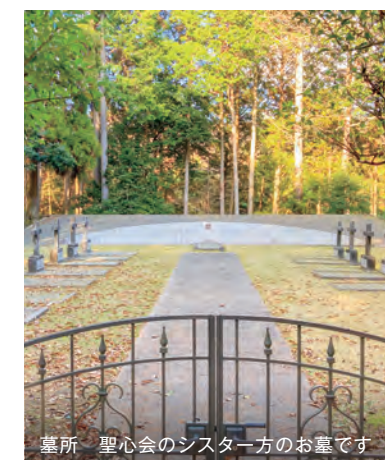
オークヒル ゴルフ・クロスカントリー大会が行われます



聖心の森 ESD・森の健康診断



テニスコート 6面あります



墓所 聖心会のシスター方のお墓です

不二農園の紅茶とSophiage®

<https://www.seishin-fujinouen.jp>



21万坪の不二聖心の一角には、不二農園があります。産・官・学協働プロジェクトとして、2013年から国産紅茶タダニシキ（裾野市特産物の紅茶）を使ったスイーツを販売しています。裾野市内のお店が開発したスイーツのネーミングを不二聖心の生徒・保護者から募集し、「Sophiage」（ソフィアージュ）と決定しました（商標登録済）。聖心の創立者の名前からSophia（ソフィア）、「洗練された」を意味するsophisticated、時代を表すAgeを掛け合わせ、「時代を超えて価値を継承してきた上質な紅茶」のイメージを名前に込めています。不二農園創設100周年を記念して、農園のほうじ茶を使った羊かんも販売されています。



枕流庵 2023年11月完成



グラウンド 富士山が見えます

Annual Events

年間行事

Sacred Heart

多彩な行事を通して かけがえのない経験をする

一年を通じて多彩な行事があります。縦割りの行事も多く、学年を超えて、実行力、リーダーシップはもちろん、一つのものを作り上げる達成感を味わいます。



お茶摘み



体育大会



夏休み子ども自然観察ツアー



秋のつどい



長崎祈りの会旅行



富士登山



クリスマスキャロル



クロスカントリー大会



百合の行列

4

April

- 入学式
- 前期始業式
- エンジェル・チャイルド対面式
- 新入生オリエンテーション
- 新年度祈りのつどい
- 中学校外活動（日本平、JAXA、山梨）
- 高校オリエンタリング

5

May

- マリア様の祈り
- 聖マグダレナ・ソフィアの祝日
- 体育大会
- 講演会
- お茶摘み（中学生）
- 避難訓練
- 初夏のバードウォッチング

6

June

- みこころの祝日（奉仕の日）
- 芸術鑑賞会
- 前期中間試験
- 高3模試（希望者）

7

July

- 安全教室
- 高校漢字検定
- 高校国語弁論大会
- 高1・高2 総合学力テスト
- 高3模試（希望者）
- 中学生 Tech.Day
- 中2 English Camp
- 高1 English Frontier
- 海外体験プログラム
- ワークキャンプ（希望者）
- 高校 English Day
- クラブWeek
- 中1 TOKYO GLOBAL GATEWAY

8

August

- 富士登山（3年に1度）
- SOFISワークショップ
- 英語・数学 夏休み補習合宿
- 高1・高2 特別夏期講座
- 防災訓練
- 大学キャンパスツアー
- 夏休み子ども自然観察ツアー

9

September

- 祈りの会
- 中3 長崎祈りの会旅行
- 高2 フランス・ルーツへの旅

10

October

- 前期期末試験
- 前期終業式
- 後期始業式
- 感ずべき御母の祝日
- 姉妹校留学申し込み
- 理系進学ガイダンス
- 高3記述模試（希望者）

11

November

- 秋のつどい（学院祭）
- 追悼ミサ
- 聖フィリピン・デュシェーンの祝日
- 球技大会
- 中3数学検定

12

December

- 百合の行列
- 後期中間試験
- 高3卒業試験
- クリスマス奉仕
- クリスマスキャロル
- チャリティーセール
- 高1 数学検定

1

January

- 読書会
- クロスカントリー大会
- 英語検定
- 中学漢字検定
- 高1 総合学力テスト
- 高2記述模試
- 韓国聖心来校
- 高3 TOEIC

2

February

- 中学国語弁論大会
- 中学 English Day
- 海外進学ガイダンス
- 送別会
- 高校卒業式
- 新入生ガイダンス（中学・高校）

3

March

- 学年末試験
- 中1 Tech.Day
- 高1・高2 キャリア講座
- 聖心女子大学出張講座
- 終業式
- 中学卒業式
- 海外体験プログラム
- 春の子ども自然観察ツアー

※変更の可能性あります



Club Activities &
Private Lessons

課外活動

Sacred Heart

仲間と協力することを学び 生涯にわたる絆を深める

生徒たちの希望を取り入れたさまざまなクラブがあり、ほとんどが中高合同で、アットホームな雰囲気で楽しく活動しています。

クラブ活動

運動部

- ◆ サッカー
- ◆ 水泳
- ◆ ダンス
- ◆ テニス
- ◆ バスケットボール

- ◆ バレーボール
- ◆ 陸上
- ◆ ゴルフ
- ◆ バドミントン(高校のみ)

文化部

- ◆ 写真(高校のみ)
- ◆ 吹奏楽
- ◆ 日本語演劇
- ◆ 美術

- ◆ アンサンブル
- ◆ E.S.S.
- ◆ 自然探索



アンサンブル



テニス



バレーボール



E.S.S.



吹奏楽



ゴルフ

プライベートレッスン

- ◆ 茶道(裏千家)

- ◆ 華道(小原流)

- ◆ 箏曲(生田流)

- ◆ AI学習教材 atama+

- ◆ 硬筆



茶道



華道



箏曲

Students
Led Activities

自主活動

Sacred Heart

主体的に活躍する生徒たち

生徒たちが学びの場を設定した自主活動が多く行われています。生徒たちは、自らの学びを活かして社会に貢献したいと願い、学院内、学院外で積極的に活動し発信しています。



奉仕活動

学院では伝統的に奉仕活動を大切にしています。昼食のおかず代を節約し世界中の必要とされている場所に寄付を行うWorld Smile Lunchや、近隣の社会福祉施設でのボランティア、クリスマスのチャリティーセールなど学院全体で行っている活動の他、生徒一人ひとりが世界目に向け、自分たちにできることを主体的に行っています。



模擬国連

模擬国連活動は各国の大使(外交官)になりきり、国連会議を模擬する活動です。国際問題を多角的視点から考え、国際問題の複雑さを理解するとともに、ディベート力、論理思考力を培い、大使として各国をまとめる過程でリーダーシップを磨きます。



Dear World

世界を知り、世界とつながるというテーマで活動を継続しています。活動内容は主に留学生との交流、留学情報の提供、また英語以外の語学学習です。留学経験者や海外在住経験をバックグラウンドに持つ生徒による語学講座は大変人気で、学生目線の情報提供を積極的に行っています。



FRP(FUJI RAINBOW PRIDE)

FRP(FUJI RAINBOW PRIDE)とは、「LGBTQ+をはじめとする全ての人が生きやすい社会について考え、アクションを起こす人を増やすこと」を目標に、不二聖心女子学院でセクシュアル・マイノリティ等に関する知識・情報を共有し、性の多様性について考え、アクションを起こしていく生徒自主活動です。



パンデミックワーキング

内閣官房の委託事業「未知なるウイルスに立ち向かえ！パンデミック研究ワーキングⅡ」に不二聖心は5チーム17名が参加しています。次のパンデミックに向けて高校生ならではの新しい提案をするために、専門家のアドバイスを受けながら活動を行っています。



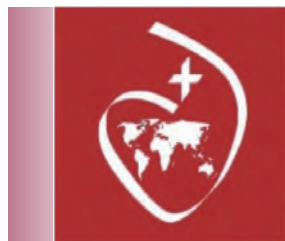
ゆめちから栽培研究プログラム

国産小麦品種ゆめちからの課題研究校に任命され、中学2年生8名が肥料をあげる量や時期によって小麦の品質や収量がどのようにに変化するかを研究しています。京都大学の大学院生のコーチのもと、研究を進め、成果の学会発表を目指しています。



聖心ネットワーク

世界聖心同窓会
(AMASC)
日本聖心同窓会
(JASH)



世界聖心同窓会 (AMASC) は世界37カ国の聖心同窓会の、日本聖心同窓会 (JASH) は日本国内に8つある聖心同窓会の統合組織です。世界でも唯一のグローバルな同窓会組織と言えるでしょう。

SOFIS



SOFISとは5つの聖心姉妹校の高校生による組織です。姉妹校の頭文字 (S: 札幌、O: 小林、F: 不二、I: インターナショナルスクール、S: 東京の三光町) をとって名前がつけられました。姉妹校間の交流を深め、社会意識を育て、社会に働きかける力を育てていく活動をしています。

聖心グローバルプラザ
(聖心女子大学／
4号館内)



グローバル共生に関わる教育、研究、社会貢献を、広く地域や社会にも開かれたかたちで実践する場です。持続可能で平和な世界の実現を目指して、グローバル共生研究所を設置し、グローバルあるいはローカルな諸課題に主体的に関わり、実践的な行動力を持つ人間を育成しています。

生涯学習センター



キリストの聖心に基づく学院の建学の精神・理念を踏まえつつ、広く、一般に生涯学習の機会を提供し、学校法人としての社会的使命を果たすことを目的として開設されました。年間を通してどなたでもご参加いただける講座を開講しています。

学費

(2024年度中学入学生の場合)

入学手続時納入金		学納金		左記に含まれないもの	
381,000円【寄宿生581,000円】		430,000円【月額35,833円】		制服一式（冬服・スカート） （夏服・スカート）	58,960円 31,108円
〔内訳〕 入学金 施設充実費 奨学金入会金 学年会費前納金 入会費（寄宿生のみ）	200,000円 150,000円 1,000円 30,000円 200,000円	〔内訳〕 授業料 施設費 図書費 暖房費 維持費	300,000円 〔月額25,000円〕 84,000円 6,000円 10,000円 30,000円	学校規定用品	68,266円
				学校指定中学ノートPC	73,920円
				寄宿舎諸費（寄宿生のみ）	970,000円
				〔月額80,833円〕	
				その他（2023年度 実績）	
				学年会計費（副教材費・行事参加費など、ただし学校指定ノートPCは除く）、奨学会費、母の会費	

(2024年度高校入学生の場合)

入学手続時納入金		学納金		左記に含まれないもの	
501,000円【寄宿生751,000円】		454,000円【月額37,833円】		制服一式（冬服・スカート） （夏服・スカート）	58,960円 31,108円
〔内訳〕 入学金 施設充実費 奨学金入会金 学年会費前納金 入会費（寄宿生のみ）	250,000円 150,000円 1,000円 100,000円 250,000円	〔内訳〕 授業料 施設費 図書費 暖房費 維持費	324,000円 〔月額27,000円〕 84,000円 6,000円 10,000円 30,000円	学校規定用品	68,266円
				学校指定高校ノートPC	187,000円
				寄宿舎諸費（寄宿生のみ）	970,000円
				〔月額80,833円〕	
				その他（2023年度 実績）	
				学年会計費（副教材費・行事参加費など）、奨学会費、母の会費	156,905円

不二聖心女子学院 創立の精神

フロンティア・スピリットをもって
世界の未来を拓く女性を育てたい。

聖心の教育のルーツは、創立者聖マグダレナ・ソフィア・バラが受けたビジョンです。それは、「世界の未来は、子供たちの手の中にある」という確信でした。「ミッションスクール」とは、「使命のある学校」という意味です。彼女は、キリスト教の精神に基づいた人間の全領域にわたる教育を通して、この世界をよりよいものに容容していくことに生涯をかけました。この思いは、今も私たちの指標です。世界に対する連帯感と使命感をもって貢献できる人を育てたいと願う私たちにとって、学院で学ぶ生徒たちは、世界をよりよいものにしていける力そのものであり、私たちの「希望」なのです。

不二聖心女子学院 中学校・高等学校 校長 シスター 大原 真実



若さを価値あるものに

1908(明治41)年1月に聖心会が来日し、同年6月東京に、そして1923(大正12)年には関西に聖心女子学院が創立されました。1920年(大正9)年、岩下清周により裾野の地に創立された「温情舎小学校」は、1946(昭和21)年に聖心会に引き継がれ、1952(昭和27)年に「聖心温情舎」と改称されました。本学院は、この年を創立年としていますが、この創立には、1950年に閉校を余儀なくされた上海聖心女子学院の灯を裾野の地に掲げようとの願いもこめられていました。1957(昭和32)年に「不二聖心女子学院」と改称された学院の教育は、200年以上にわたる豊かな教育の伝統を土台に、国内のみならず、世界5大陸にわたる姉妹校の広がりの中で育まれてきました。



初代院長
エリザベス・ダフ

History

1800年	フランス パリで聖心会創立
1801年	フランス アミアンで最初の寄宿学校開校
1908年(明治41年)	聖心会修道女、横浜上陸。聖心女子学院設立
1914年(大正03年)	岩下清周、不二農園開設
1920年(大正09年)	不二聖心女子学院の前身、温情舎小学校創立
1945年(昭和20年)	岩下家より不二農園の経営移管
1946年(昭和21年)	温情舎小学校 聖心会に移管
1947年(昭和22年)	温情舎女子中学校開校
1952年(昭和27年)	聖心温情舎小・中学校と改称
1953年(昭和28年)	聖心温情舎高等学校を開校
1957年(昭和32年)	不二聖心女子学院 小・中・高等学校と改称
1973年(昭和48年)	小学校廃止
2000年(平成12年)	聖心会創立200周年
2008年(平成20年)	聖心会来日100周年
2020年(令和02年)	創基100年
2022年(令和04年)	創立70年
2024年(令和06年)	不二農園開設110周年